

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
093-331-6395(交通部安全対策課)

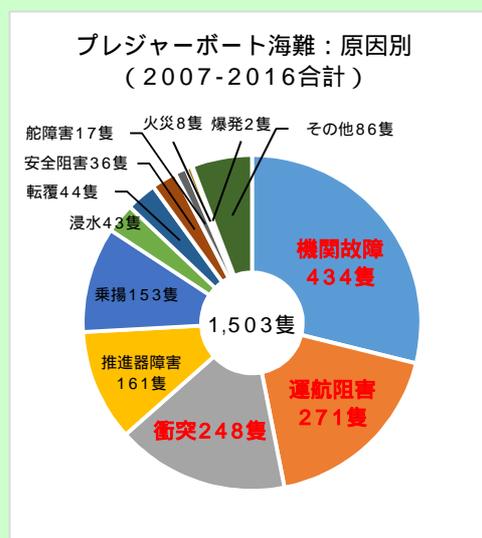
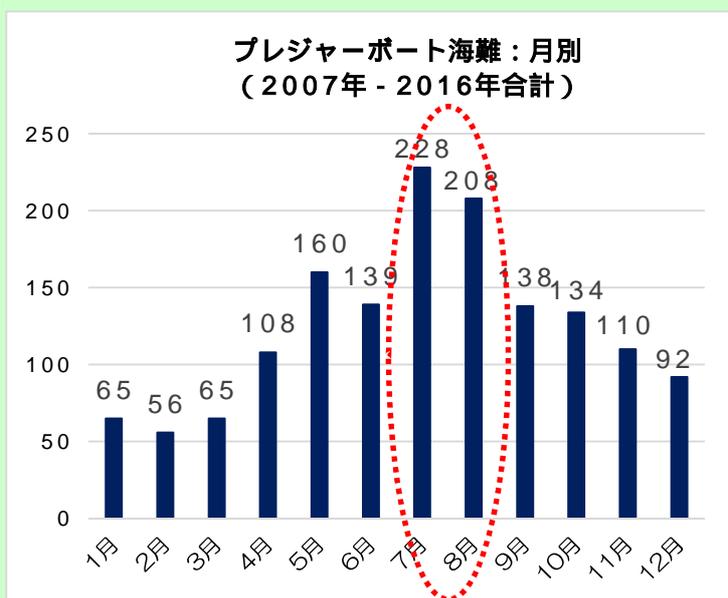
第136号 平成29年7・8月合併号

BACKNUMBER

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_zen_report/

夏季はプレジャーボートの海難が多数発生しています！

夏本番に突入しマリナーレジャーが活発化する時期です。
第七管区海上保安本部が管轄する北部九州海域では1年を通して7～8月の夏季に最も多くプレジャーボートの海難が発生しています。
【下図参照】



月別の発生状況を過去10年間合計で見ると、7月と8月に集中的に発生しており、ふた月で436隻(29%)発生しています。
また、最も多い事故の種類は、**機関故障**、次に**運航阻害(燃料欠乏・バッテリー過放電等)**、**衝突**の順で発生しています。

➤ これらを防止するためには！

発航前検査の徹底

燃料欠乏の防止

バッテリー過放電の防止

見張りの徹底(釣り中の見張り励行！)

に注意し海難防止に努めましょう！！



ライフジャケットも事前点検を行いましょ

さて、待ちに待ったマリンレジャーの季節が到来しました。

そこで、まずお願いしたいのは、ライフジャケットの着用です。

ライフジャケットには、膨張式（首掛けタイプ、ベルトタイプ、ジャンパータイプ、ウェストポーチタイプ）、固形式、空気密封式、そして小児用の4種があります。



< 膨張式 >



< 固形式 >



< 空気密封式 >



< 小児用 >

固形式、空気密封式、小児用を使用する際には、外観点検を行い適正に装着することで安全に使用することができますが、膨張式はさらに作動部の点検が必要となります。

膨張式は、炭酸ガスボンベから浮力体のふくろにガスを充填させ、浮力を生じさせるものです。

このため、膨張式ライフジャケットを正常に作動させるために、

- ・ ボンベに穴が開いていないことを確認（開いていれば炭酸ガスボンベを新品へ交換）
- ・ ボンベを確実にセットする
- ・ ボンベからガスを噴出させるための機構部分における劣化の有無の確認

の3つを装着前に点検する必要があります。

万が一の際には、ライフジャケットがあなたを守ります。「ライフジャケットは暑いからイヤダ!」、「面倒くさいのでイヤダ!」、この考えはあなたの家族や友人を悲しませることに繋がります。

ライフジャケットは、事前に点検を行い、適正な装着をお願いいたします。

平成30年2月からモーターボートなど小型船舶に乗船する際は、ライフジャケットの着用が義務化されます。今から着用する習慣を身に付けておきましょう!!

「離岸流」に注意しましょう！

海水浴場や海岸付近では、「離岸流」と呼ばれる流れが発生することがあります。「離岸流」は、岸から沖に向かう流れで、波打ち水際で泳いでいる人が「離岸流」により沖に流されてしまうことがあるため、大変危険です！

また、「離岸流」は海岸であればどこでも発生する可能性があります、その速さはオリンピックの競泳選手並みの速さになることもあります。

このような速い流れの「離岸流」に遭ったら、

まずは慌てないで、落ち着いて、付近の人に対して助けを求めましょう！

「離岸流」の幅はわずか10m～30mといわれています。

岸に向かって（流れに逆らって）泳がず、海岸線と平行に泳いで「離岸流」から抜け出すこと。その後は無理なく岸へ向けて泳ぐことができます。



また、海水浴では「離岸流」に注意するほか、以下のことにも注意しましょう。

過労や睡眠不足など、**体調不良時や飲酒後は泳がないこと。**

防波堤や離岸堤及び突堤など、**人工構造物の近くでは泳がないこと。**

遊泳禁止場所や遊泳禁止発令時のほか、**天気が悪い日には泳がないこと。**

小さな子供さんが海に入っている時は、**保護者の方は子供から絶対に目を離さないこと。**

大分:神崎海水浴場 (H29.6.13)
波打ち際から沖合約 80m まで伸びた



(鹿児島大学西教授より画像提供)

離岸流については、第七管区海上保安本部海洋情報部 HP で情報提供しています。

< http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/marin/rigan/rip_current.htm >

問合せ先：第七管区海上保安本部海洋調査課 093-321-2934(内線 2535)

